



にきさく にもうさく 二期作と二毛作はちがうの

にきさく こめ ねん かいづく 二期作はお米を年2回作ること

こめ がつ なえ う がつ い
米はふつう4月ごろに苗を植え、9月にとり入れます。

あたたか みみ ちほう たう はや はや がつ あと
暖かい南の地方では田植えが早くでき、早いものでは7月にとり入れます。その後すぐ、
また たう ねん かい こめ
また田植えをして、年に2回、米づくりができます。このように同じ田で1年に2回、米を
つく にきさく
作ることを二期作といいます。

にもうさく おなたはたねん かい さくもつ 二毛作は同じ田畑に年2回ちがう作物をつくること

にほん こめ と い た むぎ う おな おな
日本では米を取り入れたあとの田に麦を植えることがよく行われます。このように同じ
たはた ねん かい さくもつ にもうさく おな たはた ねん
田畑に年に2回ちがう作物をつくることを二毛作といいます。また、同じ田畑で1年に2
しゅるい さくもつ ほう さくもつ おもてさく いっぽう ほう さくもつ うらさく
種類の作物をつくる時、おもな方の作物を表作といい、もう一方の方の作物を裏作とい
にほん こめ おもてさく むぎ うらさく ばあい おお み
ます。日本では米を表作とし、麦を裏作とする場合が多く見られます。

ばくしゅう 麦秋

ばくしゅう ことば みみ おも きせつ あらわ ことば むぎ
麦秋という言葉も、耳にするとおもしろい。こちらは季節を表す言葉で、麦がとれるころの
しよか あき みの きせつ おも むぎ みの きせつ あらわ ことば ばくしゅう
初夏のことです。秋は実りの季節を思いうかばせませす。麦の実りの季節を表す言葉が麦秋で
にほん こめ むぎづく おも う ことば
す。日本は、米と麦作りを主にしていることから、生まれた言葉です。

(監修・中山 周平)

